

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、 適切な避難行動をとりましょう

災害時には、
危険な場所にいる人は避難することが原則です。

知っておくべきポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 市が指定する避難所が**すべて開設されるわけではありません。**
災害時には**市ホームページ**などで開設されている避難所を確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。
やむをえず**車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認**してください。

総務課防災危機管理室

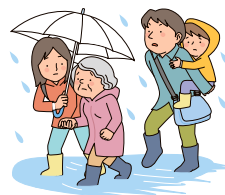
☎

(25)

1118

一人一人が備えてこ！
防災力UP！鳥羽

vol.133



栄えある受章おめでとうございます

旭日双光章

地方自治功労(元 鳥羽市議会議員)

坂倉 紀男さん (83)
(船津町)



20年にわたり鳥羽市議会議員に在職され、議長などを歴任し、常に地方自治の第一線にあって、住民福祉の向上と公共施設の整備充実に多大なる貢献をされました。

受章の声

このたび、受章の栄に浴し身に余る光栄に感激いたしております。この栄誉もひとえに皆さまの多年にわたる温かいご指導とご支援のたまものと心から感謝申し上げる次第でございます。今後はこの栄誉に恥じることはないよう一層精進いたし、些かなりともご芳情に報いたいと存じますので、何卒従前のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆さまのご多幸をお祈りしご挨拶いたします。

瑞宝単光章

消防功労(元 鳥羽市消防団 副団長)

前田 康吉さん (70)
(神島町)



昭和58年に鳥羽市消防団に入団し、長年にわたり消防団員として精神的・肉体的に労苦の多い環境において、業務に精励しました。また平成10年からは副団長として団本部に所属し後進の育成、消防力の強化・充実に尽力されました。

受章の声

このたびは叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえに今まで支えてくださった多くの皆さまの温かいご指導、ご支援のたまものと心より御礼申し上げます。記憶にも新しい能登半島地震を含め、近年多発する大規模な災害に対しては共助が重要と言われております。今後はこの栄誉に恥じぬよう地域の防火啓発、防災活動により一層精進し災害に強い街づくりに貢献してまいります。